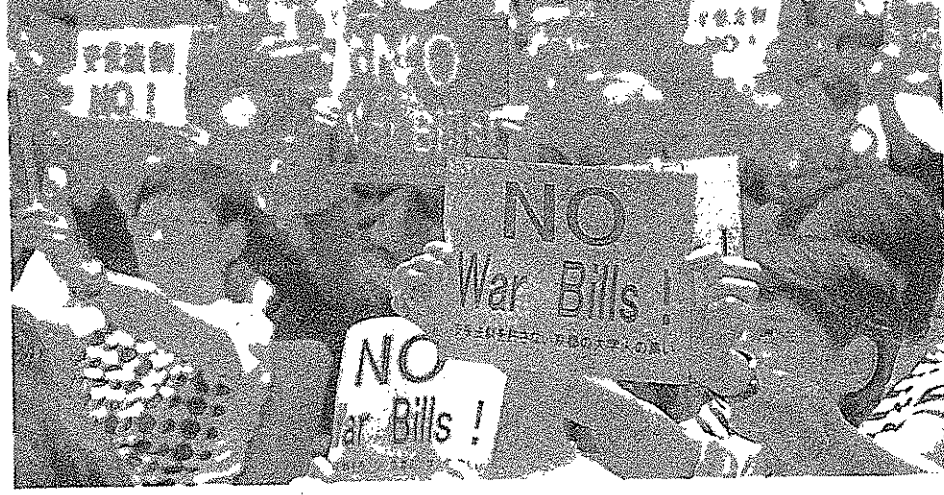


戦争法案阻止 教職員・学生・政令市議も

京都の大学人集い

集会の終わりに「戦争法案ノー」と書いた紙を掲げる参加者＝5日、京都市



自由・法治主義 政権党から取り戻そう

戦争法案に反対の声を上げる京都の各大学教職員らが初めて集う会合が5日夜、京都市南区の龍谷大学・響都ホールで行われ、230人が参加しました。

山室信一・京都大学教授が基調報告。自民党議員の数々の暴言を批判し「政権党から自由と民主主義、法治主義を取り戻すことが一番の課題になった」と強調。戦争法案は日本が自らの意思で戦争に参加するものだとし「日本が一発でも銃弾を放てば、日本全土が戦場になる。在外邦人は命をねらわれる」と指摘しました。

「反対するなら対案を」という声に対し「憲法9条こそが21世紀の世界に提起できるもっとも有効な対案だ」と力を込めました。

京都大、立命館大、同志社大、龍谷大、京都学園大、佛教大、京都教育大、京都工芸繊維大の8大学の教員・元教員、「SEALDS KANSAI」（シールズ関西）の学生が訴えました。

教育大の神代（くましろ）健彦氏は、同日に同大教職員有志の会を立ち上げたことに触れ

「学生が教師となり、子どもを戦場に送り出す手伝いをさせたくない」と述べました。

佛教大の岡崎祐司教授は「正義をもって運動する若者に不当な圧力をかける安倍政治を退場させなければいけない」と強調しました。

参加した立命館大学3回生の石原幸穂さん（20）は「国民にまともな説明できない法案を世界に向けて説明できるのか。大学が動きだす、かつてない局面だ。廃案にさせたい」と話していました。

オール明治の会 賛同署名300人超す

明治大学に関係する「会」が3日、立ち上がり、すべての人が集い、安りました。保法案に反対の声をあげる「オール明治の会」が、かつて国家権力に迎

合し、勉学を志した学徒にペンを捨てさせ、歓呼の声で幾十万人の若者を戦場に送り出したことを深く悔いて反省することから「戦後の大学教育が始まった」と指摘。「権利、自由、その家族など、明治大

独立、自治」を建学の精神とする「明治大学」に、「不戦の誓い」の輪を大きく広げ、安保法案を廃案に追い込もうと呼びかけています。

賛同署名は6日現在300人を超えています。

堺市議有志が 超党派で宣伝

戦争法案に反対する堺市議会議員の有志でつくる「堺市議会議員有志の会」は6日、同市・堺東駅前



戦争法案に反対する堺市議ら＝6日、堺市

有志の会」は6日、同市・堺東駅前

案に反対する宣伝を行いました。日本共産党、ソレイユ堺の市議らが参加し、弾薬や非人道兵器など何でも輸送できる法案の危険性を訴えました。超党派の会が反対し、否決されました。

日本共産党の城勝行市議は、連立法案の強行採決は国民主権をふみにじるものだと批判。「政治家は軍事ではなく、話し合いで解決できる未来社会を目指すべきだ」と述べました。

ソレイユ堺の小堀清次市議は「われわれ議員の仕事は、市民の命を守ることに」と強調し、戦争に駆り出され、命を落とさなければならぬ戦争法案は廃案しないと訴えました。

日本共産党から岡井勲、石本京子、森頼信、森田晃一の名氏が、ソレイユ堺から3人が参加しました。

2/7 市被